

科目名	仏教文化 A				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照		
開講期	春学期	開講学部等	文化学部	配当年次	1 年次
教員名	志賀 浄邦			単位数	2 単位

授業概要／Course outline

現代人は、欲望と利便さの追求によって物質的にはこの上ない豊かさを獲得した。しかしながら、現代はストレス社会といわれ、特に近年は、凶悪犯罪や自殺者の増加に顕著なように、現代人のこころの荒廃が叫ばれている。このような現代にあって、我々は先人たちが築いた豊かな精神文化に立ち返ってみる必要があるのではないだろうか。

今から約2500年前にガウタマ・シッダールタ（ブッダ、釈迦）によって開かれた仏教は、インドのみならずアジア各地の文化に多大な影響を与えた。本授業では、まずブッダの生涯について概観した上で、後に仏教の根本思想となるブッダによって説かれた教え（四法印・四聖諦他）を学ぶ。次にブッダ入滅後、紀元前後に起こった大乘仏教について考察する。特に、他者との関係が意識される菩薩思想（利他行・慈悲・智慧）や六波羅蜜について取り上げる。授業後半では、仏教の現代的形態としての「エンゲイジド・ブディズム（社会参加仏教）」に注目し、台湾および現代インドに見られる事例を取り上げる。台湾では500万～1000万人の会員数を擁する「慈済会」という仏教NGO組織が、災害復興支援を中心とする国際ボランティア（利他的活動）を展開している。またインドでは、B. R. アンベードカルによって開始された仏教復興運動が日本人僧・佐々井秀嶺によって継承され、現在に至るまで被差別民解放運動（人権運動）と連動した仏教改宗運動が推進されている。両事例において、仏教の対社会的な教義あるいは価値観（例えば慈悲や利他行など）がどのような形で具現化されているかを考察したい。

なお授業中に、DVD・写真・画像等のヴィジュアル資料によって授業内容を視覚的に確認する時間も設ける予定である。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート）
授業の中で数回、教室全体でのブレインストーミングやディスカッションを行う。
- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
オンデマンド授業は、moodleを通じて動画を配信する。内容に関する質問はメールで受け付ける。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 イントロダクション：「仏教文化を学ぶにあたって」

- ・「どのような目的で、何について学ぶのか」について説明する。
- ・シラバスの記載内容を確認する。
- ・受講生の予備知識の程度・興味関心等をはかるため、「レディネスチェックシート」を記入する。

第2回 テーマ：ブッダの生涯（1）誕生～出家

- ・「リフレクションペーパー」の作成要領について説明する。
- ・ブッダの生涯（誕生から出家）についてまとめたレジュメを配布し、それに沿って説明する。
- ・期限までにリフレクションペーパーを完成させ、moodle経由で提出する。

第3回 テーマ：ブッダの生涯（2）出家～伝道

- ・授業の冒頭に前回の内容についての復習テストを行う。
- ・前回書いてもらったリフレクションペーパーについて振り返り、受講生数名の意見を紹介する。
- ・ブッダの生涯（出家～伝道）についてまとめたレジュメを配布し、それに沿って説明する。
- ・期限までにリフレクションペーパーを完成させ、moodle経由で提出する。

第4回 テーマ：ブッダの生涯（3）伝道～入滅

- ・授業の冒頭に前回の内容についての復習テストを行う。
- ・前回書いてもらったリフレクションペーパーについて振り返り、受講生数名の意見を紹介する。
- ・ブッダの生涯（伝道～入滅）についてまとめたレジュメを配布し、それに沿って説明する。

第5回 テーマ：ブッダの思想（1）四法印①

- ・授業の冒頭に前回の内容についての復習テストを行う。
- ・前回考えてもらった質問を紹介し、質問のいくつかをピックアップして紹介する。
- ・ブッダの思想（四法印）についてまとめたレジュメを配布し、それに沿って説明する。
- ・期限までにリフレクションペーパーを完成させ、moodle経由で提出する。

第6回 テーマ：ブッダの思想（2）四法印②

- ・授業の冒頭に前回の内容についての復習テストを行う。

- ・前回考えてもらった質問を紹介し、質問のいくつかをピックアップして紹介する。
 - ・ブッダの思想（四法印）についてまとめたレジュメを配布し、それに沿って説明する。
 - ・期限までにリフレクションペーパーを完成させ、moodle経由で提出する。
- 第7回 テーマ：ブッダの思想（3）四聖諦と八正道、中間レポート課題の提示
- ・前回書いてもらったリフレクションペーパーについて振り返り、受講生数名の意見を紹介する。
 - ・中間レポート課題を提示し、作成要領等について説明する。
 - ・ブッダの思想（四聖諦と八正道）についてまとめたレジュメを配布し、それに沿って説明する。
- 第8回 テーマ：ブッダの思想（4）縁起・中道思想
- ・授業の冒頭に前回の内容についての復習テストを行う。
 - ・ブッダの思想（縁起・中道思想）についてまとめたレジュメを配布し、それに沿って説明する。
 - ・期限までにリフレクションペーパーを完成させ、moodle経由で提出する。
- 第9回 テーマ：ブッダの生涯と思想の総括、ブッダの教えの現代的意義
- ・授業の冒頭に前回の内容についての復習テストを行う。
 - ・前回書いてもらったリフレクションペーパーについて振り返り、受講者数名の意見を紹介する。
 - ・これまでの授業で扱ったブッダの生涯と思想について総括し、その現代的意義について考える。
 - ・期限までにリフレクションペーパーを完成させ、moodle経由で提出する。
- 第10回 テーマ：「エンゲイジド・ブディズム」とは何か？
- ・授業の冒頭に前回の内容についての復習テストを行う。
 - ・前回書いてもらったリフレクションペーパーについて振り返り、受講者数名の意見を紹介する。
 - ・エンゲイジド・ブディズム（社会に関わる仏教）の理念・定義・提唱者等についてまとめたレジュメを配布し、それに沿って説明する。
 - ・期限までにリフレクションペーパーを完成させ、moodle経由で提出する。
- 第11回 テーマ：台湾におけるエンゲイジド・ブディズム（1）慈済会の理念と活動
- ・授業の冒頭に前回の内容についての復習テストを行う。
 - ・前回書いてもらったリフレクションペーパーについて振り返り、受講生数名の意見を紹介する。
 - ・台湾におけるエンゲイジド・ブディズム（慈済会の理念と活動）についてまとめたレジュメを配布し、それに沿って説明する。
 - ・期限までにリフレクションペーパーを完成させ、moodle経由で提出する。
- 第12回 テーマ：台湾におけるエンゲイジド・ブディズム（2）慈済会の活動と證嚴法師
- ・授業の冒頭に前回の内容についての復習テストを行う。
 - ・前回書いてもらったリフレクションペーパーについて振り返り、受講生数名の意見を紹介する。
 - ・台湾におけるエンゲイジド・ブディズム（慈済会の活動と證嚴法師）についてまとめたレジュメを配布し、それに沿って説明する。
 - ・期限までにリフレクションペーパーを完成させ、moodle経由で提出する。
- 第13回 テーマ：インドにおけるエンゲイジド・ブディズム（1）アンベードカルの生涯と思想
- ・授業の冒頭に前回の内容についての復習テストを行う。
 - ・インドにおけるエンゲイジド・ブディズム（アンベードカルの生涯）についてまとめたレジュメを配布し、それに沿って説明する。
 - ・期限にリフレクションペーパーを完成させ、moodle経由で提出する。
- 第14回 テーマ：インドにおけるエンゲイジド・ブディズム（2）佐々井秀嶺の生涯と思想、学期末レポートの提示
- ・前回書いてもらったリフレクションペーパーについて振り返り、受講生数名の意見を紹介する。
 - ・学期末レポート課題を提示し、作成要領等について説明する。
 - ・インドにおけるエンゲイジド・ブディズム（佐々井秀嶺師の生涯と思想）についてまとめたレジュメを配布し、それに沿って説明する。
- ★オンデマンド テーマ：春学期のまとめと補足
- ・春学期に学んだ内容を総括する。
 - ・授業の中で取り上げることができなかったトピック、関連書籍、視聴できなかった映像資料等について紹介し、適宜解説を行う。
 - ・第14回の授業後に動画を配信する予定であるが、配信日時については、決定次第、授業内およびmoodleにて周知する。

事前・事後学修／Preparation and assignments

※原則として、事前学習は各授業90分、事後学習も各授業90分必要である。下記の内容を確認して、しっかりと事前・事後学習に取り組むこと。

第1回 イントロダクション：「仏教文化を学ぶにあたって」

【事前学習】「仏教」「仏教文化」と聞いて思い浮かぶことを考えておく。

【事後学習】配布資料を再読し、理解を確認する。

第2回 テーマ：ブッダの生涯（1）誕生～出家

【事前学習】参考文献『仏教の源流 インド』第1～3章、『インド仏教史 上巻』の関連箇所（第一章第一～三節）を読み、ブッダの生涯に関する予備知識を得ておく。

【事後学習】授業時に配布したプリントおよび上記の参考文献を再読し、次回授業の冒頭に行う復習テストに備える。

第3回 テーマ：ブッダの生涯（2）出家～伝道

【事前学習】参考文献『仏教の源流 インド』第1～3章、『インド仏教史 上巻』の関連箇所（第一章第一～三節）を読み、ブッダの生涯に関する予備知識を得ておく。

【事後学習】授業時に配布したプリントおよび上記の参考文献を再読し、次回授業の冒頭に行う復習テストに備える。

第4回 テーマ：ブッダの生涯（2）伝道～入滅

【事前学習】参考文献『仏教の源流 インド』第1～3章、『インド仏教史 上巻』の関連箇所（第一章第一～三節）を読み、ブッダの生涯に関する予備知識を得ておく。

【事後学習】授業時に配布したプリントおよび上記の参考文献を再読し、次回授業の冒頭に行う復習テストに備える。

第5回 テーマ：ブッダの思想（1）四法印①

【事前学習】参考文献『仏教の源流 インド』第4～5章、『インド仏教史 上巻』の関連箇所（第一章第四節）を読み、ブッダの思想に関する予備知識を得ておく。

【事後学習】授業時に配布したプリントおよび上記の参考文献を再読し、次回授業の冒頭に行う復習テストに備える。

第6回 テーマ：ブッダの思想（2）四法印②

【事前学習】参考文献『仏教の源流 インド』第4～5章、『インド仏教史 上巻』の関連箇所（第一章第四節）を読み、ブッダの思想に関する予備知識を得ておく。

【事後学習】授業時に配布したプリントおよび上記の参考文献を再読し、次回授業の冒頭に行う復習テストに備える。

第7回 テーマ：ブッダの思想（3）四聖諦と八正道、中間レポート課題の提示

【事前学習】参考文献『仏教の源流 インド』第4～5章、『インド仏教史 上巻』の関連箇所（第一章第四節）を読み、ブッダの思想に関する予備知識を得ておく。

【事後学習】授業時に配布したプリントおよび上記の参考文献を再読し、次回授業の冒頭に行う復習テストに備える。中間レポートの作成を進める。

第8回 テーマ：ブッダの思想（4）縁起・中道思想

【事前学習】参考文献『仏教の源流 インド』第5～6章、『インド仏教史 上巻』の関連箇所（第一章第四節）を読み、ブッダの思想に関する予備知識を得ておく。

【事後学習】授業時に配布したプリントおよび上記の参考文献を再読し、次回授業の冒頭に行う復習テストに備える。中間レポートの作成を進める。

第9回 テーマ：ブッダの生涯と思想の総括、ブッダの教えの現代的意義～

【事前学習】これまでに配布したブッダの生涯と思想に関する資料を読み返しておく。ブッダの思想の現代的意義について考えておく。

【事後学習】ブッダの思想の現代的意義について自分なりにまとめておく。

第10回 テーマ：「エンゲイジド・ブッディズム」とは何か？

【事前学習】参考文献「仏教と社会変革」の全体または一部を読み、エンゲイジド・ブッディズムに関する予備知識を得ておく。

【事後学習】授業時に配布したプリントおよび上記の参考文献を再読し、次回授業の冒頭に行う復習テストに備える。

第11回 テーマ：台湾におけるエンゲイジド・ブッディズム（1）慈済会の理念と活動

【事前学習】参考文献『驚異の仏教ボランティア』の第1～3章を読み、慈済会の理念と活動に関する予備知識を得ておく。

【事後学習】授業時に配布したプリントおよび上記の参考文献を再読し、次回授業の冒頭に行う復習テストに備える。

第12回 テーマ：台湾におけるエンゲイジド・ブッディズム（2）慈済会の活動と證嚴法師

【事前学習】参考文献『驚異の仏教ボランティア』の第4～7章を読み、慈済会の活動と證嚴法師に関する予備知識を得ておく。

【事後学習】授業時に配布したプリントおよび上記の参考文献を再読し、次回授業の冒頭に行う復習テストに備える。

第13回 テーマ：インドにおけるエンゲイジド・ブッディズム（1）アンベードカルの生涯と思想

【事前学習】参考文献『アンベードカルの生涯』の全体もしくは一部を読み、アンベードカルの生涯に関する予備知識を得ておく。

【事後学習】授業時に配布したプリントおよび上記の参考文献を再読し、次回授業の冒頭に行う復習テストに備える。

第14回 テーマ：インドにおけるエンゲイジド・ブッディズム（2）佐々井秀嶺の半生と思想、学期末レポート

課題の提示

【事前学習】参考文献『必生 闘う仏教』の全体もしくは一部を読み、佐々井秀嶺の半生と思想に関する予備知識を得ておく。

【事後学習】授業時に配布したプリントおよび上記の参考文献を再読し、次回授業の冒頭に行う復習テストに備える。学期末レポートの作成を進める。

★オンデマンド テーマ：春学期のまとめと補足

【事前学習】春学期に学んだ内容を総復習しておく。

【事後学習】中間レポートおよび学期末レポート課題で問われた内容を振り返り、本授業で学んだことを自分なりに総括する。

授業の到達目標／Expected outcome

- ・2500年前にインドに現れたガウタマ・シッダータ（ブッダ）は、どのような生涯を送り、いかなる思想を説いたのかについて正しく理解し、自分の言葉で説明できるようになる。
- ・ブッダによって説かれた思想や菩薩思想を、現代的な文脈でとらえ直すことができるようになる。
- ・「エンゲイジド・ブディズム」について深く理解し、仏教の社会との関わり方について自分なりの意見を持つことができるようになる。
- ・インドにおける不可触民（社会的マイノリティ）の問題に関して自分の意見をまとめ、それを口頭で発表することができるようになる。
- ・授業内容に関して自分なりの考え・意見・視点を持ち、それをリフレクションペーパーにおいて的確かつ論理的に文章表現できるようになる。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- | | |
|---------|---------------|
| ・ 思考力 | 専門知識・専門技能 |
| ・ 幅広い教養 | 【文化学部 京都文化学科】 |
| | ・ 文化の多様性の理解 |
| | 【文化学部 国際文化学科】 |
| | ・ 人文学に関する知識 |

履修上の注意／Special notes, cautions

- ・授業中の私語、頻繁な入退室、大幅な遅刻など、他の受講生の迷惑となる行為や授業環境を乱す行為は厳禁とする。
- ・授業の冒頭の復習テストを行うので、必ず前回の内容を復習しておくこと、また遅刻しないようにすること。
- ・インド仏教独自の考え方や聞き慣れない用語が頻出するため、講義後配布資料を再読し、自分の頭でもう一度理解し、再考するようにすること。
- ・上記の授業計画は進行上の都合により順序・内容を若干変更する場合がある。

評価方法／Evaluation

中間レポート課題25%、学期末レポート課題25%、平常点（受講態度、積極性、復習テスト、リフレクションペーパーの提出等）50%

教 材／Text and materials

講義資料としてレジュメを配布する。主な参考文献は以下の通りである。

- ・長尾雅人『仏教の源流 インド』（中央公論新社、2001年）
- ・平川彰『インド仏教史 上巻』（春秋社、1974年）
- ・ワールボラ・ラーフラ〔著〕、今枝由郎〔訳〕『ブッダが説いたこと』（岩波書店、2016年）
- ・リチャード・ゴンブリッチ〔著〕浅野孝雄〔訳〕『ブッダが考えたこと プロセスとしての自己と世界』（サンガ、2018年）
- ・中村元〔訳〕『ブッダのことば』（岩波書店、1984年）
- ・荒巻典俊他〔訳〕『スッタニパータ〔釈尊のことば〕全現代語訳』（講談社、2015年）
- ・中村元〔訳〕『ブッダの真理のことば・感興のことば』（岩波書店、1978年）
- ・中村元〔訳〕『ブッダ最後の旅』（岩波書店、1980年）
- ・桂紹隆他〔編〕『シリーズ大乘仏教1 大乘仏教とは何か』（春秋社、2011年）
- ・桂紹隆他〔編〕『シリーズ大乘仏教3 大乘仏教の実践』（春秋社、2011年）
- ・中村元『慈悲』（講談社、2010年）
- ・魚川祐司『仏教思想のゼロポイント：「悟り」とは何か』（新潮社、2015年）
- ・しんめいP『自分とか、ないから。教養としての東洋哲学』（サンクチュアリ出版、2024年）
- ・佐々木閑・宮崎哲弥『ごまかさない仏教 仏・法・僧から問い直す』（新潮社、2017年）
- ・釈徹宗『いきなりはじめる仏教生活』（バジリコ株式会社、2008年）
- ・志賀浄邦「仏教と社会変革 ―妹尾義郎・B. R. アンベードカル・佐々井秀嶺の思想と実践―」（『京都産業大学

日本文化研究所紀要』第17号，2012年）

- ・保坂俊司『インド仏教はなぜ亡んだのか ―イスラム史料からの考察―』（北樹出版，2003年）
- ・金子昭『驚異の仏教ボランティア 台湾の社会参画仏教「慈済会」』（白馬社，2005年）
- ・志賀浄邦「台湾仏教・慈済会による慈善活動とその思想的基盤―菩薩行としてのボランティア活動と「人間仏教」の系譜」（『京都産業大学日本文化研究所紀要』第21号，2016年）
- ・志賀浄邦「B. R. アンベードカルの改宗論：「知的亡命」としての仏教への改宗」（『京都産業大学世界問題研究所紀要』第36巻，2021年）
- ・佐々井秀嶺『必生 闘う仏教』（集英社，2010年）
- ・佐々井秀嶺『求道者 愛と憎しみのインド』（サンガ，2015年）
- ・関根康正・根本達・志賀浄邦・鈴木晋介『社会苦に挑む南アジアの仏教 B. R. アンベードカルと佐々井秀嶺による不可触民解放闘争』（関西学院大学出版会，2016年）
- ・小林三旅・今村守之『男一代菩薩道』（アスペクト，2008年）
- ・山際素男『破天 インド仏教徒の頂点に立つ日本人』（光文社，2008年）
- ・山際素男『不可触民の道 インド民衆のなかへ』（三一書房，1982年）
- ・B. R. アンベードカル／山際素男（訳），『ブッダとそのダンマ』（光文社，2004年）
- ・ダナンジャイキール／山際素男（訳），『アンベードカルの生涯』（光文社，2005年）
- ・山崎元一『インド社会と新仏教』（刀水書房，1979年）
- ・山崎元一・吉村玲子〔訳〕『カーストの絶滅』（明石書店，1994年）

質問や相談の方法／Instructor contact

- ・授業に関する質問や相談などがある場合は，授業終了後に質問するか，授業開始以降にmoodleにて周知するメールアドレスに質問すること。

その他／Others

特になし。